

摘み取り農園で農場鮮度のいちごを味わってほしい！

(アグリビジネス復興戦略塾)

いちごいちえ
株式会社一莓一笑

事業概要

いちごの特産地として知られる山元町は、平成23年3月の東日本大震災による津波で、集落とともにいちごハウスも甚大な被害を受けました。

当時、父が経営するいちご生産に参画していた代表取締役の佐藤拓実氏は、いちご産地として復興させたいとの強い想いから、同じような境遇にあった友人とともに平成24年3月、社名に「一粒の莓で一人ひとりを笑顔にしたい」と願いを込め、「株式会社一莓一笑」を設立しました。

いちごは、完熟したものが一番味がいいのですが、傷みが早まることから、一般的には店頭と並べる日に合わせて完熟する数日前に収穫します。しかし、当社では「笑顔にしたい」との願いから、完熟したおいしいいちごを届ける当日宅配事業を平成26年1月に開始し、当日の朝に収穫した完熟いちごを早ければ午後3時のおやつに、遅くても夕食後のデザートに食べられるサービスを宮城県内全域で提供しています。

さらに、当社では当初の願いが強くなり、完熟したいちごをその場で食べてもらいたいとの想いに至り、食べてほしい人の距離の利便性などを考え、仙台市内にいちごの摘み取り体験をしてもらう農園の開設を決定しました。

また、法人経営を安定させるためと新規事業の計画作成のため、佐藤拓実氏は社員とともに平成24年度から毎年、[アグリビジネス入門講座](#)や[経営革新講座](#)を受講し、労務管理の手法やビジネスプランの作成等を習得しています。平成28年度には[アグリビジネス復興戦略塾](#)を受講し、いちご摘み取り農園を開設する事業計画のブラッシュアップを行いました。確度が高まった計画は同年度の県事業に採択され、平成29年5月には竣工し、現在平成30年1月のオープンを目指して、着実に準備を進めています。

当社の願いの実現に向けた活動はまだまだこれからも続いていきます。

企業の声

専門家からのアドバイスにより、社内外に対する目標や意識の共有のためにどの視点で明文化すべきか整理することができました。

また、各種の講座では自分の頭の整理や学ぶことが毎回あり大変役立っています。

一人でも多くの人に笑顔になってもらいたい気持ちをこれからも大事にしていきます。

企業概要

代表者：代表取締役 佐藤拓実

住 所：亶理郡山元町浅生原字新田 58

電 話：050-3805-1518

E-mail：info@ichiichigo.jp

URL：<http://ichiichigo.jp/>

業 種：農業



〔平成30年1月オープン予定の摘み取り農園〕



〔当日宅配している 完熟いちご〕

[アグリビジネス復興戦略塾](#)は、専門家とのディスカッションを通じて、事業計画の可能性や課題を探り、「儲かる仕組み」を持った事業計画を徹底的に考える機会を提供する事業です。